



「グローバル時代の教育 知の探究者を育てるカリキュラムの構築」



2008年8月12日(火)

午前9時(受付開始)

午前9時30分～午後5時30分

学習院大学 西5号館 301・303 教室

参加費無料(定員 150名)

主催 学校法人学習院

目的と概略

目的: 大学入学前後における知の探究者育成についての意見交換。

概要: 将来地球規模で活躍する人材育成を目標に、学生の受け入れ側の大学と送る側の高等学校が、大学入学前後に修めてほしい学問とは何かを話し合う。生涯役立つ知の獲得ができるカリキュラム構築のため、大学受験勉強や大学におけるリメディアル教育を超えて、日本に適した国際標準の教育のあり方を模索する。

タイムスケジュール

Time	Contents	Speaker
9:00 - 9:30	受付	
9:30 - 9:40	開会の辞	学習院長 波多野敬雄氏
9:40 - 10:10	『グローバル時代の日本の教育』基調講演	福井憲彦氏(学習院大学)
10:10 - 10:40	『学習院高等科「総合」の理念』	林知宏氏(学習院高等科)
10:40 - 11:00	Break 1	
11:00 - 12:30	『世界標準カリキュラムを目指す IB プログラムの特徴 ~実践報告~』 『IB and AP at St. Paul's School』	ウェンドフェルト延子氏 (加藤学園暁秀中・高等学校) William Matsuzaki 氏 (St. Paul's School)
12:30 - 13:50	Lunch Discussion	
13:50 - 15:20	『地球市民を育てる ICU の英語教育』	深尾暁子氏(国際基督教大学) 渡辺敦子氏(国際基督教大学)
15:20 - 15:40	Break 2	
15:40 - 17:20	『中等・高等教育における探究型カリキュラムの意義』	大迫弘和氏(千里国際学園中等部・高等部) 市川力氏(東京コミュニティスクール) 品川明氏(学習院女子大学)
17:20 - 17:30	閉会の辞	学習院高等科長 北島秀明氏
18:00 - 20:00	Party	

*Break 1, Break 2, Lunch Discussion は、参加者と講演者の意見交換の時間です。



IBプログラムとは、1968年にジュネーブで設立された国際バカロレア機構(IBO)が提供する国際的な単位認定教育プログラムです。単位取得コースにおいて優秀な成績を修めることで、世界中の各国を代表する大学への入学資格を認定されます。[\(http://www.ibo.org/\)](http://www.ibo.org/)

『学習院高等科「総合」の理念』

2003年度より高等学校に導入された「総合的な学習の時間」(以下「総合」)に関して、様々な議論が行われてきた。反「ゆとり教育」の流れの中、早くも次の学習指導要領では時間減へと進む様相を呈している。だが、この「総合」は、我々にいくつかの考えるべき事柄を提示したように感じる。特に「基礎学力」の名の下に何を想定するかという最も重要な問題が浮かび上がったように見える。「総合」の授業を通じて考え、学んだことを報告する。

『世界標準カリキュラムを目指す IB プログラムの特徴』

IBの学習者像として、生涯にわたって学ぶことを積極的に楽しむ、複眼的思考、探求調査スキル、コミュニケーション、新しいことに挑戦する、心を開く等々があげられています。これらを厳密に具体化するレシピがIBです。IBは、世界トップ教育への切符といえるほどの高度な内容を持っている魅力的な教育です。日本ではIBの先進性が理解されないため、運用の難しさがあります。ただしそれは、IBの責任ではありません。

講師紹介

市川 カ 氏 (いちかわ ちから)	東京コミュニテイスクール校長。 海外での学習塾運営を経て、現在、探究型カリキュラムの開発・実践に携わる。
William Matsuzaki 氏 (ういりあむ まつざき)	Modern Language Department Chair and Japanese Exchange Program Coordinator at St. Paul's School, Baltimore. MA at Johns Hopkins Univ. (Education).
ウェンドフェルト 延子 氏 (うえんどふえると のぶこ)	加藤学園暁秀中・高等学校バイリンガルコース・ディレクター。 University of Kansas 大学院修了(政治学)。翻訳家。通訳。
大迫 弘和 氏 (おおさこ ひろかず)	千里国際学園中等部・高等部校長。東京大学文学部卒。主要著書『この国の未来を創る学校—日本型国際学校の可能性』共著、(創友社)
品川 明 氏 (しながわ あきら)	学習院女子大学国際文化交流学部教授、環境教育センター所長。東京大学大学院博士課程修了(農学博士)。シジミ研究の第一人者。主要著書『魚介類のエキス成分』共著、(恒星社厚生閣)。
林 知宏 氏 (はやし ともひろ)	学習院高等科教諭。東京大学大学院博士課程修了(科学史)。博士(学術)。主要著書『ライブニッツ—普遍数学の夢』東京大学出版会。
深尾 暁子 氏 (ふかお あきこ)	国際基督教大学講師(課程准教授)。San Francisco State Univ. (MA)。主要著書『大学の英語教育を変える—コミュニケーション力向上への実践指針』(2008) 山地弘起編著 玉川大学出版部
福井 憲彦 氏 (ふくい のりひこ)	学習院大学長。日本ユネスコ国内委員会委員。東京大学大学院人文科学研究科(西洋史学)博士課程中退。主要著書『ヨーロッパ近代の社会史』(岩波書店)。
渡辺 敦子 氏 (わたなべ あつこ)	国際基督教大学講師。Columbia Univ. Teachers College (MA)。主要著書『ICUの英語教育—リベラル・アーツの理念のもとに』(2008)富山真知子編 研究社。

IB and AP at St. Paul's School

学習院高等科の留学協定校である米国メリーランド州の St. Paul's School におけるグローバル教育について IB (The International Baccalaureate) や AP (Advanced Placement Program) の実践を中心に話します。



『地球市民を育てる ICU の英語教育』

本発表は「地球市民の育成」という大学の理念の下、アカデミックな英語運用能力及び批判的思考能力の育成を目指す英語教育課程(ELP)のカリキュラムを紹介する。



『中等・高等教育における探究型カリキュラムの意義』

大学教育の質の向上を図り、社会に出て役立つ力を育むには、中学・高校からじっくりと学生の「認識力」「探究力」を培う必要がある。知識を運用し、新たな知をつむぎ出す機会を創り出すために、中学・高校・大学を貫き、有機的に連関・発展する「探究型カリキュラム」をどのように設定していけばよいか、具体的実践例に基づいて提案する。

参加対象：グローバル時代の教育に関心がある方

参加申込：下記の問い合わせ先へ氏名・連絡先住所並びに電話番号・メールアドレス・所属をご連絡ください。

『学習院フォーラム参加希望』という題名で上記の事項を記入の上、電子メールにてお申し込みいただきますと、確認メールを返信いたします(globalgakushuin2008@yahoo.co.jp)。

150名の定員になり次第、締め切らせていただきます。

交通アクセス



駅からのアクセス



西5号館

主催： 学校法人学習院

問合せ先： 学習院高等科 山本昭夫

〒171-0031 東京都豊島区目白 1-5-1 TEL 03-3986-0221 (代表)

問い合わせ電子メールアドレス： akio.yamamoto@gakushuin.ac.jp

参加申込電子メールアドレス： globalgakushuin2008@yahoo.co.jp